

令和7年度 第1回みんなで支える森林づくり諏訪地域会議 議事録

開催日時：令和7年9月25日（木） 13時30分から16時30分まで

開催場所：【現地視察】茅野市

【会議】諏訪合同庁舎 502号会議室

出席者：【構成員】（五十音順、敬称略）

清水 英夫、中村 くすみ、藤森 良隆（座長）、松下 妙子

【事務局】

（諏訪地域振興局）

竹花 顕宏 地域振興局長、小島奈美子 林務課長、狩戸 知喜 治山林道係長

山崎 昭典 林務係長、北原 啓二 普及林産係長

要 旨：

【現地視察】13時30分から15時30分

視察1：市町村森林整備支援事業（ライフライン保全）

茅野市金沢



視察2：地域森林資源利活用システム構築支援事業（諏訪森林組合 中間土場）

茅野市玉川



【会 議】15時30分から16時30分

要 旨：

■会議事項（Ⅰ）令和6年度森林づくり県民税活用事業の実績について

（事務局）

資料Ⅰにより説明（説明者：山崎）

（藤森構成員（座長））

市町村森林整備支援事業の森林病虫害対策は松くい虫対策に関わるものか。また、諏訪管内の松くい虫被害の状況は。

（事務局）

諏訪管内では、被害市町村に指定されている市町村はないため、国庫補助ではなく森林税等で伐倒燻蒸を実施している。管内でも単発的に被害が確認されているが、被害が確認された際には市町村ですぐに伐倒燻蒸をしてもらっており、被害が拡大している状況ではない。

（清水構成員）

原村でも移住者等が増えてきており、奥の方まで道路や電線などライフラインが発達してきているが、災害時にはライフラインの被害などが発生している。森林税の活用なども必要であるため、引き続きお願いしたい。

また、河畔林整備については準用河川のみならず、県が所管するⅠ級河川についても整備をお願いしたい。

（松下構成員）

ライフライン保全など、住民に近い市町村でしかカバーできない地域の課題について、森林税を充てていることは、とても有効活用できていると感じた。また、中間土場の必要性についても理解できた。松くい虫被害についても大きく広がる前に、未然に防止するために使われていることが素晴らしいと感じた。

全国的に見たときに、長野県のような森林税を創設している県はあるか。

（事務局）

都道府県独自で長野県のように森林税を創設している県は複数ある。

（松下構成員）

やまほいく等の教育分野にも森林税を活用していただいている事も非常にありがたいと考えている。来年度、やまほいくの全国的なフォーラムが長野県で行われるので、長野県ではこのような教育分野にも森林税が活用されていることを発信しても良いと思っている。

（事務局）

森林税も第4期目となっており、最初は間伐に対する事業が主であったものが、材の搬出や主伐・再造林などへの補助など、いろいろ形を変えてきており、やまほいくなどへの補助についても、地域会議や県民会議の場で意見をいただいた中で事業化されてきていると思う。今後も森林税の活用に対し、いろいろなご意見をいただけるとありがたい。

■会議事項（２）令和７期年度森林づくり県民税活用事業の実施状況について

（事務局）

資料２により説明（説明者：山崎）

（藤森構成員（座長））

令和６年度に対し、令和７年度の実施予定が大きく増えているが、その要因は。

（事務局）

諏訪地域は県の中でもなかなか主伐・再造林が進んでいない地域ではあるが、今年度から富士見町や原村で新たに主伐が始まってきている。

また、防災減災に関わる間伐については、岡谷市の林業事業体で所有者などの同意取得などの準備が整い、新たに２つの団地で間伐が実施されることとなった。

（藤森構成員（座長））

短い時間ではありましたが、貴重なご意見をいただいた。今後も構成員のみなさまの立場で今後も検証をお願いしたい。